

# この街 あの人 この人

音楽のボランティアを通して、このまちを盛り上げたい

平 哲也さん (79 歳)



アコーディオンを弾いて約 50 年

30 歳のころに始めたアコーディオンを、79 歳になった今でも現役で弾く平さん。「このまちを盛り上げたい。ボランティアで伴奏して、それに合わせて皆さんに歌

っていただきたい」と話します。その思いから、いくつかのイベントを開催したり、新しく歌の会を立ち上げたりしています。**小湊鉄道で歌声列車を開催**

走る列車の中で楽しい歌をみんなで歌う企画を、昨年同社に提案。今年の 6 月 21 日に第 1 回『歌声列車 IN 小湊鉄道』が実現しました(写真右上)。「地域の方々にとって、小湊鉄道を利用する機会がもっと増えたらいい。小湊鉄道に愛着が湧きますよ。市外の方にも、市原市の新しい観光スポットとして来ていただきたいと思います」と平さんは話します。

第 2 回は 8 月 16 日(日)。以後、定期的で開催する予定です(要事前申し込み。同鉄道 ☎ 6771)。

『昭和の歌を歌う会』を新設

「昨年、イトーヨーカドー市原店の店長さんから『4 階のスペース“とらい”を、よかったらお使いください』とお話を頂きました。歌を通して地域を活性化させ



第 1 回の『歌声列車 IN 小湊鉄道』は 62 人が参加

たいと思っていたので、早速この会を立ち上げました。昨年の 4 月から月に 2 回開催しています。先月 15 日には約 70 人が参加。ゲストのりゅうよしこさん(千葉市在住・歌手)がピアノを弾き、二人の伴奏に合わせてフロアいっぱい歌声が響き渡りました。

生涯、音楽ボランティアを続けたい

平さんは、老人保健施設『ユー・アイ久楽部』(西広)で月に 2 回、ボランティアでアコーディオンやピアノの伴奏もしています。今年で 8 年目。音楽ボランティアへの思いを「可能なら 200 歳まで、生涯現役で音楽ボランティアを続けたい。それでまちが元気になってくれれば幸せです」と語ってくれました。

## Art Collection



王の城(深沢幸雄 1962 年作)

1961 年から、深沢氏は 2 版または 3 版の多色摺りに挑戦します。同氏の当時の色彩版画には油絵具が使われており、インクとは異なった淡い仕上がりとなっています。

8 月下旬まで市役所ロビーで展示しています。

問合せ先 Web ふるさと文化課 ☎ 9853

## Kid's stage



村社 和奏ちゃん (4 歳)

「毎日楽しく幼稚園に通っています。お友達もたくさんできました! 夏休みはプールやキャンプをして楽しもうね」

## いちはら

### 歴史物語

#### 16 市原に残る民俗 弓射の神事『オビシヤ』(中)

**小田部のオビシヤ**(1月20日)  
地元の熊野神社に氏子一同が集まり、宮司が祝詞を上げます。弓・矢・的が清められると、弓射に移ります。当番の代表が最初の矢を田に向けて射てから、宮司以下、二人ずつ的を狙います(7月1日写真)。

葉木のオビシヤ(1月22日)  
地元妙見神社の境内で行われます。社殿に各世帯で作った矢を持ち寄り、宮司による祝詞奏上が行われます。始めの矢を宮司が射て、参加者一同が続きます。的は丸く、米・麦・稗・粟・大豆の五穀が書かれたもの。豊作を願って弓射が行われます。

【お知らせ】(一)八幡宿市民ギャラリーで8月3日(月)から31日(月)まで、オビシヤで使われた道具と写真パネルを展示します。

9853

(二)菊間の徳永オビシヤ保存会からオビシヤの教示がありました。九町会(草刈・古市場・徳永・金剛地・葉木・小田部・南岩崎・片又木・中郷)のほかにオビシヤを知る人は、左記問合せ先まで。

問合せ先 ふるさと文化課 ☎ 9853



小田部のオビシヤ的



葉木のオビシヤ(的は五穀)